

2006年世界禁煙デー記念シンポジウム

テーマ 「やめたい人を手助けする禁煙支援」

WHOのスローガン：「たばこ：どんな形や装いでも命取り」

(Tobacco : Deadly in any form or disguise)

日時 平成18年5月31日(水) 開場12時30分

会場 サイエンスホール(東京都千代田区北の丸公園2-1)

共催 厚生労働省、(社)日本医師会、(社)日本歯科医師会、(社)日本薬剤師会、
(社)日本看護協会、たばこと健康問題NGO協議会<がん研究振興財団、結核予防
会、健康・体力づくり事業財団、日本食生活協会、日本対がん協会、母子衛生研
究会、日本公衆衛生協会、日本心臓財団>、
「喫煙と健康」WHO指定研究協力センター

後援 内閣府、警察庁、人事院、文部科学省、東京都
日本栄養士会、日本循環器管理研究協議会、日本学校保健会、
中央労働災害防止協会、日本禁煙推進医師歯科医師連盟 他

目的 どのようなたばこであっても喫煙は様々な疾病の危険因子であり、禁煙は生活
習慣病予防の基本の一つである。

本年4月から、禁煙治療に対する保険適用が開始されるなど、禁煙を支援する
環境が整ってきていることから、「やめたい人を手助けする禁煙支援」をテーマ
に、喫煙の危険性や、禁煙による効果等を認識し、禁煙及び受動喫煙防止対策の
重要性等についての普及啓発を積極的に行うこととするものである。

対象 国民一般、行政・保健医療・教育関係者、その他

プログラム

12:30-13:00 開場

13:00-13:10 開会挨拶 厚生労働大臣

13:10-13:30 報告

「政府における主なたばこ対策」

厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室

たばこ対策専門官 村重 直子

講演

13:30-13:55 「高齢者にしのびよるたばこ病 COPD」

和歌山県立医科大学教授 一ノ瀬 正和

13:55-14:20 「禁煙支援の輪を広げよう」

大阪府立健康科学センター健康生活推進部禁煙カウンセラー

増居 志津子

14:20-14:45 「禁煙治療の現場から」

日本大学医学部総合健診センター 高橋 敦彦

14:45-14:55 休憩

14:55-15:50 パネル討論「やめたい人を手助けする禁煙支援」

座 長：たばこと健康問題NGO協議会会長 島尾 忠男

パネリスト：和歌山県立医科大学教授 一ノ瀬 正和

大阪府立健康科学センター健康生活推進部 増居 志津子

日本大学医学部総合健診センター 高橋 敦彦

15:50-16:00 閉会挨拶 たばこと健康問題NGO協議会会長 島尾 忠男